

24

株式会社ジェネックス

外国からの観光客に情報発信

平成29年9月13日(水)開催の「第5回新商品・新サービス合同プレス発表会」で発表した各社と商品を紹介するコーナーです。今回は(株)ジェネックスの「多言語観光情報案内板」です。



株式会社ジェネックス
代表取締役 松丸昂平さん

近年増え続けている、欧米やアジア各国からの外国人観光客への対応として、多言語の情報提供が求められています。(株)ジェネックスが開発・発表した、多言語に対応する観光情報のデジタルサイネージ(電子情報媒体)は、そのニーズに応える新商品です。

「栃木県内の観光施設では、いま急増する外国人観光客への対応に苦慮しています。言語は簡単に習得できませんし、日本語を話せる外国人を雇うのもなかなか難しい。そのような施設をお手伝いするために開発したのが、今回の新商品です」

新商品です」

こう話すのは、同社の松丸昂平社長です。40インチのタッチパネル式サイネージを使ってタッチ式でメニューを開いて行くことにより、必要な情報にどんどんアクセスすることができます。ポイントは観光客にとって便利であること、設置施設にとって導入が容易であること(コスト面も含む)。

「過去に、同種のものを開発してホテルに納入したことがあるので、それをベースに4月から開発を始めました。単に文章を多言語化しただけではなく、宇都宮市のソフト会社とコラボレーションして音声でも案内できるようにしました。さらにQRコードも表示し、利用者がスマホで読み取ることで出かけた先でも情報にアクセスできるようになっています」

コンテンツの変更も容易にできるシステムを採用、制作コストを下げることで、導入しやすくしています。

「観光だけでなく、さまざまな分野で応用が可能なと思います。ぜひ多くの人に知っていただきたいですね」



多言語対応の観光情報案内板
(デジタルサイネージ)



「COCOAR2」をインストールして写真に다다すと発表風景が見れます。

合同プレス発表会で商品紹介をする松丸社長